

2月2日に、サンフランシスコの減衰について“北米西海岸に大地震の可能性”をお伝えしました。その段階では、2年間以上つづいた【サンフランシスコ】のデータに1月12日ごろから急な変化があり、さらに1月末ごろから急な減衰傾向がみられました。そのため大地震の可能性を考えて、とりあえず、2月中に北米カリフォルニア近辺にM7クラスの大震災の発生の可能性を載せました。

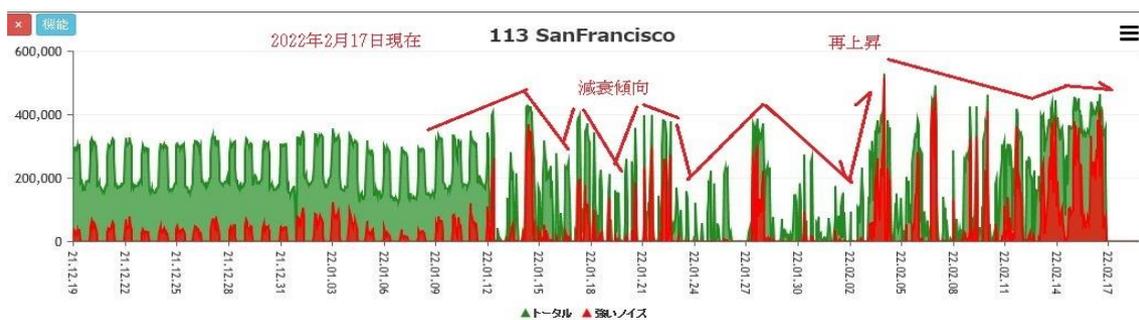
しかしその後、サンフランシスコのデータは再度上昇に転じています。仮にこのデータの上昇がしっかりしたものであって、長期に続く場合は しばらくの間は大地震の危険は少なくなると考えられます。

逆に、この上昇傾向が、いわゆる一時的なりバウンドであった場合は、しばらくして、再度減衰に転じて行って、収束傾向になっていくとすると、今回よりもさらに大地震の発生の可能性が高まります。こうした意味から、サンフランシスコのデータの今後の推移は十分に注意していきます。以下関連のデータを載せます。参考まで。

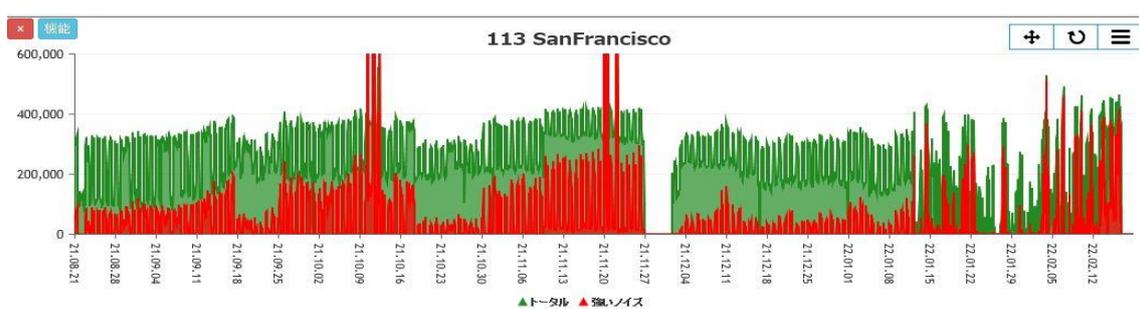
サンフランシスコ 1月31日まで 180日間（半年）日毎データ



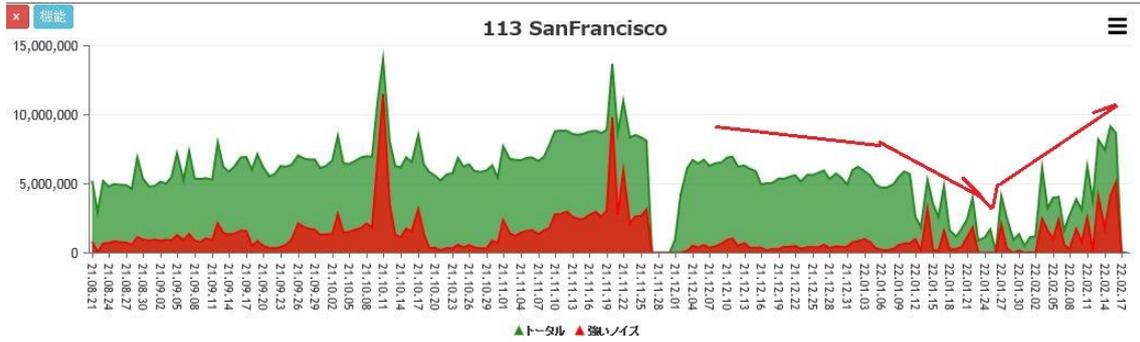
サンフランシスコ 2月17日現在 60日間データ > 再上昇傾向



サンフランシスコ 2月17日現在 180日間データ



サンフランシスコ 2月17日現在 180日間（日毎）データ>再上昇



サンフランシスコ 2月17日現在 180日間（日毎）データ>減衰と再上昇

